⚠ 警　告

●人体や動物に絶対使用しないでください。
本機をヘアドライヤーの代わりに人体に使用すると重大事故に結びつきます。

●ヤケドに充分注意しながら使用してください。
また、ご使用中は吹出し口及びノズル部が高温になりますから触れないでください。

●燃えやすい物、可燃物等の近くで使用しないでください。火災の原因になります。
●においや異音など異常を感じた時は、直ちにプラグをコンセントから抜いて御購入窓口までご連絡ください。そのまま使用されると大変危険です。

⚠ 注　意

●危険ですから小さなこどものそばでは使用しないでください。また、使用後はいたずら防止のため、こどもの手の届かない場所に保管してください。
●電源コードに傷、損傷等がある場合は火災、感電等の危険がありますので使用しないでください。
●使用中、電源コードは温度が高くなりますので、束ねたり、重ねたまま使用しないでください。火災の原因になります。
●定格以上の電圧を加えないでください。ヒーターが過熱し、火災の危険があります。

●濡れた手で触ったり、雨の中・風呂場など、水分や湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。感電する恐れがあります。

●プラグはコンセントの電流定格を確かめてから、根元まで差し込んでください。使用後、または長時間使用しないときは必ずプラグをコンセントから抜いてください。コードではなく、必ずプラグをつまんで抜いてください。
●収納はノズルの温度が充分冷えたのを確認してから行ってください。ヤケドや火災の原因になります。
●空気取入口をふさいだり、ほこりの多い場所での使用はしないでください。故障の原因となります。
●熱風吹出し口やノズル付近に熱がこもるようなご使用はさけてください。破損の原因になります。
●ヒートガードを取り外して使用しないでください。

快適にお使いいただくために

●安全な作業をするため、作業場の整理整頓に心掛け明るい場所で作業を行ってください。●安全のため、作業にあった服装や手を保護する手袋の着用をしてください。●能力を越えた作業は危険です。ムリ、ムダのない作業で能率よくお使いください。●安全に作業していただくために、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。●誤って落としたり、ぶつけたりした場合は異常の有無を確認の上ご使用ください。●使用中機械の調子が悪かったり異常に気付いた時には、直ちに使用を中断してください。●電源は必ず適正電源であるかを確認の上、ご使用下さい。又、あまり長い延長コードや細いコードは正規の能力を発揮しないばかりかトラブルのもととなりますのでご注意ください。

販売元
Geotech（株）ジオテックゴルフコンポーネント　TEL:0120-168-188　FAX:0120-655-188
www.geotechgolf.com

製造元
goot TAIYO ELECTRIC IND.CO.,LTD. 太洋電機産業株式会社　TEL:084-951-9010

OCT 2004 S0452FT00

Geotech

オリジナルヒートガン

取扱説明書

商品番号：5663-0003

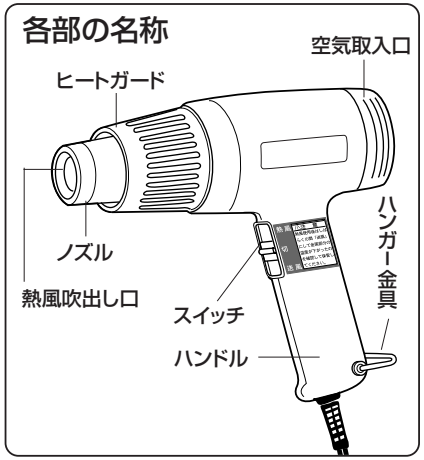
このたびはオリジナルヒートガンをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくため、必ず、この取扱説明書をお読みになった上でご使用ください。また、この取扱説明書も本機同様、必要な時にすぐに参照できる場所に保管してください。

シャフト抜きに必須!!

接着剤の溶解に最適な＜ヒートガン（5663-0003）＞です。
熱風／送風切り替えスイッチ付き。

仕　　様

■型番	HG-900-S2
■定格電圧	100V・AC50/60Hz
■定格電流	12A
■消費電力	1,200W
■スイッチ	熱風／切／送風
■風量	400リットル／分
■熱風温度	450℃／40℃
■寸法(W)	(W)220×(H)190mm
■重量	約700g
■コードの長さ	1.8m



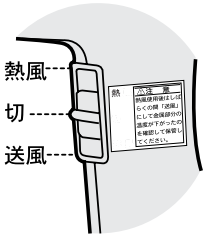
ご使用方法

1.スイッチを「切」にして、100V電源のコンセントに電源プラグを差し込みます。

2.スイッチを用途に応じて切替えて使用してください。
熱風（450℃）／切／送風（約40℃）
※「送風」時は約40℃の風が出ますが、別に問題はありません。

3.空気取込口が左右にありますので、吹出し口を上向きにし使用が可能です。
支えとしてハンガー金具を立てて使用してください。（図1）

4.「熱風」使用後はしばらくの間「送風」にしてノズル部分の温度が下がったのを確認して「切」にしてください。

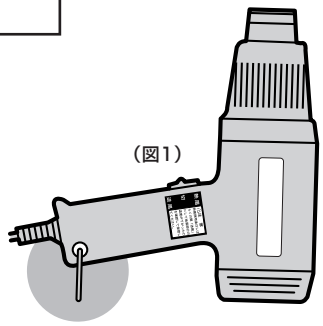


注 意　内部に熱がこもらないよう使用後は必ず「送風」にしてから熱風吹出し口を上に向けて冷やして下さい。
本機はオーバーヒートすると、安全装置により温度が下がるまで自動的にヒーターOFFの状態になります。

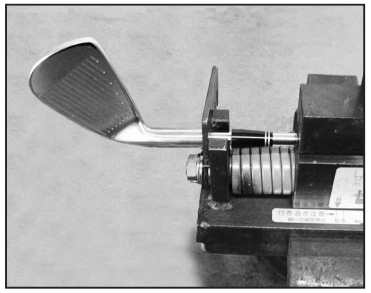
●ハンガー金具

保管時フックへ吊り下げる事が可能です。又吹出し口を上向きにして使用する際の支えとしてもご利用いただけます。

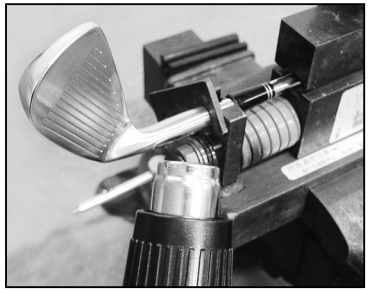
注 意　本製品をご使用の際は、使用条件に適合するか否か試験を充分行った上でお使いください。お取り扱いの不手際による損害の補償は一切いたしません。


（図1）

ヘッドの抜き方



①通常、スプリング式ヘッド抜き工具（**#KM240**）と併用して使用します。まず、ソケットカッター（**#KM204**）等を用いてクラブからソケットを外し、ヘッド抜き工具にクラブをセットします。その際は、左の写真のようにヘッドのトゥ側を上に向けセットしてください。



②クラブをセットしたらヒートガンのスイッチを「熱風」にし、ヘッドのホーゼル部分に熱風を当て、ヘッド抜きを行います。熱風を当てる際は1箇所に集中して当てることは避け、360度まんべんなく当てるように心がけてください。

注 意　1箇所に長時間当てるとヘッドの変色、シャフトの破損の原因となりますので、ご注意ください。

③使用後はスイッチを「送風」にし、クールダウン（ノズル部分の温度を下げる）を行った後、「切」にしてください。特にアイアンなど、連続してヘッド抜きを行う場合は必ず送風機能を使用し、内部温度が上昇しないように注意してください。

注 意　内部温度が上昇し過ぎると安全回路が働き、自動的に**OFF**状態になります。（15～30分放置し、内部温度が下がると動作可能となります）

警 告　安全のために、シャフトの再利用は行わないようお願いいたします。